



特定非営利活動法人 山崎・谷戸の会  
会報 第120号 2024年3月5日発行

本会は、鎌倉中央公園の貴重な谷戸景観と多彩な動植物を保全するため、市民活動を実践していたメンバーが中心となり、行政との協働で立ち上げたものです。

# はやばやと春がやってきています



さつまいもの苗床作り

ずっとカサカサだった谷戸に、やっと湿り気が戻ってきました。アカガエルの卵が田んぼにたくさんと思ったら、同時に田の草もウジャウジャ。畑にも外来植物がスクスク。田も畑も人の手を待ち望んでいます。

## お知らせ

**春の谷戸まつり 4/27 (土)**  
10:00~13:00

場所：野外生活体験広場(荒天中止)

販売コーナー 米・わら・薪・麦わら細工など

体験コーナー ノコギリ体験ほか

お椀とお箸を  
ご持参ください!



## 谷戸塾

田・畑・雑木林管理の保全作業、講座(観察会や農芸体験など)で、谷戸保全を学びます。

**オリエンテーション 4/14(日)10:00~**

会場 管理棟2階 研修室

申し込み・お問い合わせはメール、電話にて

## 里山探検隊

農体験や谷戸の遊びをします。

★小学生以上(会員)対象 ★活動時間 10:00~13:00

★全6回通年参加できる方

申し込みは3/20よりホームページにて



2月5日、2年ぶりに雪が積もりました。気温が氷点下になる日もありましたが、春を思わせる暖かい日が多く、ウメが半月ほど早めに咲き始めました。今年の冬は雨がほとんど降らず、今までにないほど谷戸の湿地が乾燥していましたが、2月半ばになってようやく雨が降り始めました。



ノウサギの足跡

●谷戸の自然の様子

2月7日、雪の上に残された獣の足跡を観察しました。田んぼ付近の湿地、谷戸奥の畑に、ノウサギの足跡がたくさんありました。アカガエルの産卵が遅れていましたが、2月16日～17日にかけて産卵が始まりました。湿度と気温の上昇が重なると一斉に産卵が始まるようです。今年は冬鳥（大陸から越冬に来る渡り鳥）が少なかったのですが、1月に北日本で雪が降ると、少しずつ冬鳥が移動して来るようで、数や種類が増えてきました。昨年に続き池にキンクロハジロというカモが来ています。2月18日は春を思わせるような陽気でしたがウグイスの初鳴きを聞きました。



謎の足跡

●ヤマザクラと野鳥

ソメイヨシノの開花が話題になる頃、谷戸の雑木林にヤマザクラが咲き始めます。サクラに浮かれるのは人間だけではなく、野鳥の鳴き声にもぎやかです。ヒヨドリやメジロの群れが花のミツを吸いに集まってくるのです。ヒヨドリやメジロは一年中見られますが、渡り鳥のように北日本へ帰る集団もいて、サクラ前線と共に北上して行くようです。花と同時に新芽が出ますが、芽吹いたばかりの葉を食い荒らすイモムシを食べてくれるのが、シジュウカラやスズメなどの小鳥です。サクラと野鳥の関係は深いのでしょうか。鎌倉のヤマザクラには、オオシマザクラという白いヤマザクラが混じります。純粋なヤマザクラとオオシマザクラの中間のようなサクラも見られます。ヤマザクラは挿し木で増やすソメイヨシノと違い、種から発芽し成長した木と思われま。一本ずつ花の色や咲く時期に微妙な個性が感じられ、見ていて飽きません。昔から鎌倉や三浦半島にはヤマザクラが多かったようで、鎌倉時代や戦国時代には、海に船を浮かべて山に咲くヤマザクラを愛でたと伝わっています。房総半島や多摩丘陵には鎌倉ほどヤマザクラがないので、土地の人たちが大事に育てたのでしよう。今、谷戸の雑木林には、ヤマザクラの若木がほとんどありません。種が発芽するまで一年くらいかかるのと、日あたりがよくないと苗木が育たないからでしょう。ここ数年、ナラ枯れ現象でコナラの大木が枯れ、雑木林の中に点々と空き地ができつつあります。このような場所にヤマザクラの苗木を植えるなど、鎌倉らしい雑木林を継承する活動ができればと願います。



キンクロハジロ



オオシマザクラ

**田んぼ班**



昨年の夏は、暑くて雨が少なかった。おまけにため池は水漏れしていて田んぼは水不足。ということで、二年ぶりに3月24日(日)ため池の整備をやります。泥だらけになりたい人熱血募集中。

**畑班**



昨年は高温少雨によるさといもその他作物の生育不良、さらにじゃがいも、大根への新たな害虫の発生に悩まされた。狭い谷戸の畑だが作付け場所を変えるなど工夫しながらの作業が今年も始まった。

**自然遊び班**



おこめがもちもちしておいしかったです。(1年)おだんごづくりがたのしかった。でもいっぱい手についた。(3年)みそ作りは、大豆をつぶすのがむずかしかった。(みそ玉を)投げるのは楽しかった。(6年)



2/18 里山探検隊

**雑木林管理班**



年明けに雑木林を調査・測定し、少しずつ生長していることを確認しました。間伐や枝打ちした材等は、谷戸活動全体に渡って活かされます。春先の竹林整備でタケノコを収穫する予定です。

**生態系保全班**



アカガエルの産卵の時期がやってきました。カエルが好む水深になるように田んぼを整備します。産卵しても安心できません。孵化したあとも食べられないよう水深の管理やネットを張るなどの対策を続けて行きます。



2/2 アシ原の手入れ

**植物育成班**



昨年の猛暑のためかミゾソバの繁茂がはげしく、アシに巻き付いて、アシが倒されてしまったことも原因でしょうが、アシやオギの株が数十年を経て老化してきたことも考えられるかもしれません。

**農芸班**



麦わらで『ヒンメリ』を作りました。北欧の伝統装飾品で、翌年の豊穰を祈るものです。正8面体の形が風でくるくると回り、コウゾで作った和紙を貼り、可愛らしいできばえとなりました。



2/7 ヒンメリ作り



## 谷戸の生きもの

### ツチイナゴ 泣いた訳は・・・

成虫で冬を越す唯一のバッタ。でも冬眠するわけではなく暖かい日には出てきて日向ぼっこをしている。冬のソナタ・・・じゃなくて・・・リビエラでもなくて・・・バッタを見たらさぞビックリすると思うが残念ながら気づく人はいない😭。初夏になると本格的に活動し子孫を残す。卵から孵った幼虫は終齢幼虫まで鮮やかな緑色だが秋になると一転して茶褐色の成虫になる。複眼の下の涙を流しているように見える模様が特徴。“何があったんだ”と思うが、最近見なくなったクルマバッタのことを心配して泣いた後かもしれない。(たのくろまめお)



越冬成虫 (2月)



幼虫(8月)



最後のクルマバッタ？  
(2020年、田の脇)

## 谷戸往来

### 寄附をいただきました

2023年度、以下の方に寄付をいただきました。谷戸保全活動に有効に使わせていただきます。ありがとうございました。(敬称略) 新谷直人 井芹美樹子 磯尾佳代子 岡野万里 岡村静子 加藤純子 川上克巳 鈴木崇史 早乙女千博 田中たかね 田中敏恵 淡中京子 藤本実太郎 安田紀代子 山本勝久 渡辺泉 渡邊眞一郎

賛助会員・賛助団体会員(敬称略) 江畑知幸 大野兼司 小林輝代 白井智子 高砂典子 田中千尋 野田真紀子 林樹実代 瑞山啓子 丸山真美 水澤麻美 認定NPO法人鎌倉あそび基地 かまくらアトリエアルノー 小袋谷囃子会 田中徹 NPO法人かまくら冒険遊び場やまもり 一般社団法人森のきょうしつ「ののはな」 青空自主保育なかよし会 青空自主保育にこにこ会

### 令和6年能登半島地震に寄付

1月14日開催のどんど焼きにて募金活動を行い、今年度イベント収入の一部を加えて、合計96,745円を石川県に寄付しました。

### 青空自主保育なかよし会 保全活動「冬の巻」1/28(日)

春、秋と続けてきた、若い親たちによる重労働の保全作業も最終回を迎え、谷戸の五分搗きもち米でもちつきを行いました。



## 体験学習

深沢小5年 収穫祭 12/21

★5月から稲の成長を見守ってきたからこそ特別な最後になりました。また、けいけんできないこともできたので、谷戸の方にも初めとはちがう、「守りたい」という気持ちがあがってきました。

★私は来年の5年生に向けて、みそを作りました。私たちは去年の5年生が作ったみそを使いました！こうやって、谷戸は昔からつづいていて、すごいと思いました。



★私は火の管理をしました。火のけむりが目に入ると目がいたくなりました。1時間以上谷戸なべをちょう理していたのに、30分ぐらいでおなべの中が空になりました。うれしい半分、悲しい半分でした。谷戸のみそと野菜を使った谷戸汁は、感動するほどおいしかったです！

★谷戸活動をしていると、お米上手くできるかなとワクワクしました。ずっと収穫祭が楽しみでした。だから今回の谷戸活動収穫祭で作ったお米、みそ汁、がいつも家で食べているお米とおみそ汁とは、また何かちがう特別な感じがしました。すごいおいしかったです。

★谷戸で一番最初にやった田うないでは、どろまみれになった時は谷戸がいやだったけど、最後になるにつれて、今までの努力が力になって返ってきたおかげで、最後のおちぼそうじもちゃんどできました。

★ずっと火をつけていて「なにをがすごくきもちよかったです。そのくまでであつめしているのかなー」と思って聞いたおちぼをふくろにいれてころがすのが、いちばんおもしろかったです。いっしゅんだったけど、かいんだよ」とおしえてくれて、ちしほうかんがわすれられないです。そのしごとをおえき一つふえました。

★くまでであつめたときのしゃっしゃっていう音がすごくきもちよかったです。そのくまでであつめたおちぼをふくろにいれてころがすのが、いちばんおもしろかったです。いっしゅんだったけど、かいんだよ」とおしえてくれて、ちしほうかんがわすれられないです。そのしごとをおえき一つふえました。



富士塚小5年 収穫祭 12/14

★ホロホロの里芋。いつも里芋ってあまり食べたくないけど今回はいっぱいおかわりしちゃった！



★私はごはんをたいたのですが、とっても楽しかったです。たけて、ふたをとった時のぶわっとでるけむりがすごい温かったです。



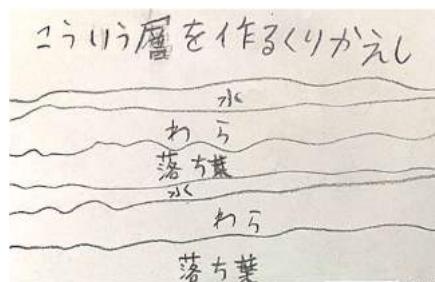
★7ヶ月間、田んぼがすごく楽しかった。がんばって作ったおこめはとてもおいしかった。

★しよいこ(せおいかご)昔のとうぐだがいやすいかも。いっぱい葉をいれる時、重さにたえるひつようがあるかも。



教育支援教室ひだまり 堆肥作り 1/24

★まず、たい肥作りをしておどろいたのは、わらと水と落ち葉をかさねて1年じゅくせい(?)させると「土」になることです。まさか落ち葉が土になるとは思いませんでした。



★昨年作られたたい肥を丘の上まで運ぶところから始まり、その後、今年のたい肥作りがスタートしました。米めかをまいたり、わらを大きいはさみで切ったり、池からくんできた水をまいたり・・・とても大変でした。でも来年にこのたい肥が谷戸のお野菜に使われると思うと頑張ってたかったと思います。

3月

- 3日(日) 田 道具の手入れ ☆  
 畑 道具の手入れ ☆  
 雑 山作業道具の手入れ ☆
- 6日(水) 植 早春の植物の観察 ♣
- 10日(日) 田 畔・水口直し  
 雑 雑木林の除間伐 ♣  
 自 父と子の里山体験 ▶  
 「絵本、谷戸観察」
- 11日(月) 畑 さつまいもの洞出し・伏せ込み ♣
- 13日(水) 畑 じゃがいもの植付け  
 生 オタマジャクシの観察 ♣
- 17日(日) 雑 雑木林の除間伐
- 24日(日) 田 ため池整備  
 雑 斧で薪割り
- 31日(日) 雑 間伐材の活用 ♣  
 和紙作り「紙すき」

4月

- 6日(土) 田 種粃蒔き
- 7日(日) 田 種粃蒔き  
 雑 竹林の整備 ♣ ☆
- 8日(月) 畑 畑の整備
- 10日(水) 生 春の植物の観察
- 14日(日) 田 種粃蒔き、田うない ☆  
 オリエンテーション 10時～  
 管理棟 2階
- 17日(水) 畑 さといも植付けの準備  
 生 春のチョウと鳥観察
- 21日(日) 田 田うない ♣
- 22日(月) 畑 さといもの植付け ♣
- 27日(土) 春の谷戸まつり
- 28日(日) 田 田うない ☆
- 29日(祝・月) 自 里山探検隊「田うない」

5月

- 3日(祝・金) 田 畔草刈り・苗床草取り  
 講座「谷戸の茶摘み」 ☆
- 5日(日) 田 くろつけ
- 8日(水) 植 帰化植物の除去作業
- 12日(日) 田 くろつけ・苗床草取り ♣
- 13日(月) 畑 畑の整備 ♣
- 15日(水) 畑 さつまいも苗植えの準備 ☆  
 生 初夏のチョウと鳥観察
- 18日(土) 田 くろつけ
- 19日(日) 田 くろつけ、しろかき、苗床草取り ☆
- 20日(月) 畑 さつまいもの苗植え ☆
- 26日(日) 田 しろかき、紐張り ☆
- 27日(月) 畑 落花生の種蒔き ♣

☆ 谷戸塾 ♣ 里山一日体験  
 各班活動 農家風休憩舎 9:30 集合  
 (農芸班、自然遊び班は、10:00～)  
 ▶ 会員以外の方 参加費 500 円/組



田：田んぼ班 畑：畑班 雑：雑木林管理班  
 農：農芸班 自：自然遊び班  
 生：生態系保全班 植：植物育成班

〒247-0066 鎌倉市山崎 1667 鎌倉中央公園管理事務所内

TEL/FAX 0467-47-1164 木曜を除く 10時～16時

ホームページ: <https://yato-yamasaki.sakura.ne.jp>

Eメールアドレス: [ya-yato@arrow.ocn.ne.jp](mailto:ya-yato@arrow.ocn.ne.jp)

- 次号(会報121号)は2024年5月発行予定
- 会費 郵便振替口座番号 00270-6-115647